

備えていますか？



ペットの防災対策



「地震だ！」そのときペットは・・・

地震などの災害が起き、自宅での生活が困難となった場合には避難所で避難生活を送ることになります。

犬や猫などのペットを飼育している人はペットと一緒に避難所へ避難します。これを「同行避難」といいます。



ペット同行避難訓練の様子

避難所での生活は・・・

避難者の中には動物が苦手な人やアレルギーのある人もいるでしょうから、避難者の居住スペースとなる屋内へはペットを連れて入ることは出来ません。ペットたちは屋外の所定の場所で、ケージに入れ飼育することになります。

また、避難所は様々な人の共同生活の場であることから、一人ひとりが避難所のルールを守って生活することが必要です。三鷹市における同行避難の飼育ルールは、チラシの裏面に記載されているので事前に確認しておきましょう。

ウラも見てね☆



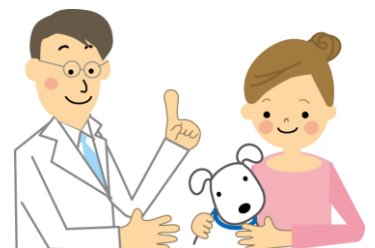
ペットのために今からできることは！

三鷹市における避難所にはペットのための備蓄はありませんので、ペットの飼育者が家族と同様に、ペットの分の食料なども最低3日分備えておきましょう。

そして、避難所には他のペットも避難することになりますので、普段から他の動物を怖がらないようにする、ケージに入ることを慣らす、定期的に予防接種や寄生虫の駆除を行うなどが大切です。

また、ペットとはぐれてしまった時にも、保護された際に飼い主の元に戻れるようマイクロチップの装着を行うなどの対策も有効です。

さらに、災害時のペット同行避難を受け入れやすい環境をつくるため、普段からご近所同士のつながりを強めておくとうれしいですね。



三鷹市同行避難動物の飼育ルール

～ペットと同行避難された皆様へ～

この避難所では、多くの人たちが共同生活を送っていますので、同行避難された皆様は、他の避難者の方に迷惑のかからぬよう、飼育ルールを守って避難所での生活を送ってください。

1. 避難動物は、飼い主の皆様の責任で、指定された場所で逃げたりしないように飼育・管理してください。
※避難所建物内はペット連れ込み禁止です。
2. 飼育場所や施設は、飼い主の責任で常に清潔な状態を保つようにしてください。
3. 避難者の中には動物の苦手な方もいらっしゃいますので、他の方への迷惑にならないよう心がけ、苦情や危害の発生防止に努めてください。
4. 排泄などは指定場所で行い、また排泄物の処理も確実に行ってください。
5. 腐敗・悪臭の発生防止のため、食事は時間と量を決めて与えるようにして下さい。
6. ノミやダニなどの病害虫の発生防止のために、定期的に決められた駆除剤を使用してください。
7. 運動やブラッシングなどは、屋外の決められた場所で行ってください。